(19)日本国特許庁(JP)　(12)特　許　公　報(B2)　(11)特許番号
特許第3837122号
(P3837122)
(45)発行日　平成18年10月25日(2006.10.25)　(24)登録日　平成18年8月4日(2006.8.4)

(51)Int.Cl.　F I
H04M 11/00 (2006.01)　H04M 11/00　302
H04B 7/26 (2006.01)　H04B 7/26　M

請求項の数 2　(全 6 頁)

(21)出願番号　特願2003-101546(P2003-101546)
(22)出願日　平成15年4月4日(2003.4.4)
(62)分割の表示　特願平9-27906の分割
原出願日　平成9年2月12日(1997.2.12)
(65)公開番号　特開2003-333207(P2003-333207A)
(43)公開日　平成15年11月21日(2003.11.21)
審査請求日　平成16年2月3日(2004.2.3)

前置審査

(73)特許権者　000001122
株式会社日立国際電気
東京都千代田区外神田四丁目１４番１号
(74)代理人　100093104
弁理士　船津　暢宏
(74)代理人　100092772
弁理士　阪本　清孝
(72)発明者　▲やなぎ▼谷　秀之
東京都中野区東中野三丁目１４番２０号
株式会社日立国際電気内

審査官　田中　秀樹

最終頁に続く

(54)【発明の名称】メロディのデータの提供方法

(57)【特許請求の範囲】
【請求項１】
第１のアドレスでメッセージを着信し、第２のアドレスで利用者によって予め選択され、着信時の報知音として使用されるメロディのデータを着信する無線受信機に対してメロディのデータを提供する方法であって、
提供者の元に登録されているメロディが電話回線を介して利用者により選択されると、当該選択されたメロディのデータと前記利用者の無線受信機の第２のアドレスデータが電話回線を介して送信され、前記利用者の無線受信機の第２のアドレスでメロディのデータが着信される場合にのみ、前記利用者の無線受信機に着信時の報知音としてメロディのデータが記憶されることを特徴とするメロディのデータの提供方法。
【請求項２】
第１のアドレスでメッセージを着信し、第２のアドレスで利用者によって予め選択され、着信時の報知音として使用されるメロディのデータを着信する無線受信機であって、
メロディのデータが記憶されている記憶部と、
利用者の指示が入力される操作部と、
メッセージを表示する表示部と、
データを着信する受信部と、
受信部で着信したデータが、第１のアドレスで着信した場合、該第１のアドレスで着信したデータをメッセージとしてメッセージのデータが記憶される記憶部に格納し、第２のアドレスで着信した場合、該第２のアドレスで着信したデータを新たなメロディのデータ

として記憶部に追加して格納する制御部とを有することを特徴とする無線受信機。
【発明の詳細な説明】
【０００１】
【発明の属する技術分野】
本発明は、音階のある電子音（メロディ）によって、着信を報知する無線受信機へのメロディのデータの提供方法に係り、特に着信時のメロディを利用者の好みに応じて換えることができるメロディのデータの提供方法に関する。
【０００２】
【従来の技術】
電子音によるメロディの鳴動は、一般的には、音程と音長とを組にしたデータ（以下、「音符データ」と称する）を羅列したメロディのデータに従って、シンセサイザが鳴動するようになっているのが普通である。
【０００３】
従来の無線選択呼出受信機について説明する。
従来の無線選択呼出受信機は、複数のメロディのデータを表す一連の音符データを格納するＥＥＰＲＯＭを備え、利用者がそのうちの一つを選択して、着信の際には当該選択されたメロディがシンセサイザによって鳴動され、着信を報知するようになっていた。
【０００４】
ここで、メロディとしては当該無線選択呼出受信機が生産された時期の流行歌や、童謡のように広く知られた音楽のメロディを流用している場合が多い。
【０００５】
【発明が解決しようとする課題】
しかしながら、上記従来の無線選択呼出受信機では、後にメロディを追加することができず、利用者がすぐに飽きてしまうという問題点があった。
【０００６】
本発明は上記実情に鑑みて為されたもので、無線受信機に対して、新たなメロディを追加でき、利用者が新鮮なメロディを楽しむことができ、飽きることがないようにするメロディのデータの提供方法を提供することを目的とする。
【０００７】
【課題を解決するための手段】
上記従来例の問題点を解決するための本発明は、メロディのデータの提供方法において、第１のアドレスでメッセージを着信し、第２のアドレスで利用者によって予め選択され、着信時の報知音として使用されるメロディのデータを着信する無線受信機に対してメロディのデータを提供する方法であって、提供者の元に登録されているメロディが電話回線を介して利用者により選択されると、当該選択されたメロディのデータと前記利用者の無線受信機の第２のアドレスデータが電話回線を介して送信され、前記利用者の無線受信機の第２のアドレスでメロディのデータが着信される場合にのみ、前記利用者の無線受信機に着信時の報知音としてメロディのデータが記憶されることを特徴とする。
また、本発明は、第１のアドレスでメッセージを着信し、第２のアドレスで利用者によって予め選択され、着信時の報知音として使用されるメロディのデータを着信する無線受信機であって、メロディのデータが記憶されている記憶部と、利用者の指示が入力される操作部と、メッセージを表示する表示部と、データを着信する受信部と、受信部で着信したデータが、第１のアドレスで着信した場合、該第１のアドレスで着信したデータをメッセージとしてメッセージのデータが記憶される記憶部に格納し、第２のアドレスで着信した場合、該第２のアドレスで着信したデータを新たなメロディのデータとして記憶部に追加して格納する制御部とを有することを特徴とする。
【０００９】
【発明の実施の形態】
本発明の実施の形態を図面を参照しながら説明する。
本発明に係る無線選択呼出受信機（本受信機）は、メロディのデータをメッセージの一種

として着信して、当該データをＥＥＰＲＯＭに格納して、着信を報知するメロディとするものであり、新たなメロディを報知音として追加できる。

【００１０】

本受信機を図１を使って説明する。図１は、本受信機の構成ブロック図である。

本受信機は、図１に示すように、受信部１と、制御部２と、メモリ３と、ＥＥＰＲＯＭ４と、報知部５と、表示部６と、操作部７とから主に構成されている。

【００１１】

尚、メッセージデータがメロディのデータであるか否かは、例えばメッセージデータの特定の位置（例えばヘッダ部分）に特異的なコードを挿入するようにするか、専用のアドレスを用意して、当該専用のアドレスにて着信することが考えられるが、以下の説明では、メッセージデータの先頭部分に特異的なコードが挿入されている場合を考慮しつつ説明する。

【００１２】

すなわち、メロディのデータを含むメッセージデータは、図２に示すような構造となっているものである。図２は、メロディのデータを含むメッセージデータの構造を表す説明図である。

メロディを含むメッセージデータは、図２（ａ）に示すように、特異的なコードと、音符データとから構成されていれば十分であるが、望ましくは、図２（ｂ）に示すように、メロディのタイトルを表すタイトル情報が付加されていることが考えられる。

【００１３】

以下、本受信機の各部を具体的に説明する。

受信部１は、アンテナに到来した信号を受信して制御部２に出力するものである。

制御部２は、受信部１から入力された信号に含まれるアドレスデータを検出して、当該アドレスデータが自己のアドレスと一致していると、当該アドレスデータに対応するメッセージデータを着信するものである。

【００１４】

また、制御部２は、メッセージデータを着信すると、当該メッセージデータの先頭部分を参照して、それが当該メッセージデータがメロディのデータであることを表すコードと一致するか否かを調べる。

ここで、メッセージデータの先頭部分が当該コードと一致しなければ、制御部２は、メッセージデータをメモリ３に格納するとともに、報知部５に着信を報知させ、表示部６にメッセージを表示する。

【００１５】

一方、メッセージデータの先頭部分が当該コードと一致していれば、制御部２は、当該メッセージデータがメロディのデータであると判断して、ＥＥＰＲＯＭ４に格納するものである。

また、制御部２は、操作部７からの指示に応じてＥＥＰＲＯＭ４に格納されているメロディのデータの一つを選択し、報知音として設定するものである。

【００１６】

メモリ３は、メロディのデータ以外のメッセージデータを格納しているものである。

ＥＥＰＲＯＭ４は、単数又は複数のメロディのデータを報知音として格納しているものであり、具体的には、例えば図３に示すような内容となっている。図３は、ＥＥＰＲＯＭ４の内容の一例を表す説明図である。

【００１７】

報知部５は、制御部２から着信を報知すべき信号の入力を受けて、制御部２に設定されている報知音を鳴動出力して着信を報知するものである。

表示部６は、制御部２からメッセージの表示をすべき指示の入力を受けて、メッセージを表示出力するものである。

【００１８】

次に、本受信機の動作について説明する。

本受信機のアンテナに図２（ｂ）に示すような内容のメッセージデータが、本受信機宛のアドレスデータとともに到来すると、受信部１がこれを受信して、制御部２に出力する。
【００１９】
すると、制御部２がこのメッセージデータを着信し、その先頭部分がメロディのデータであることを表すコードと一致するか否かを調べ、一致するので、引き続くタイトルのデータと音符データとをＥＥＰＲＯＭ４にメロディのデータとして格納する。
そして、利用者が当該メロディのデータを報知音として選択し、設定できるようになり、着信すると、当該メロディが鳴動されるようになる。
【００２０】
尚、メロディのデータは、いわゆる情報サービスの一つとして提供されるようにしておくことが考えられる。具体的には、利用者は当該サービスを提供する提供者に電話をかけて、当該提供者の元に予め登録されているメロディの一つを選択し、自己の所有する本受信機にメッセージデータとして送信してもらうようにする。
【００２１】
また、メロディのデータを着信したときに、制御部２が利用者に当該データをＥＥＰＲＯＭ４に格納するかを確認する指示を求めるようにしておいても構わない。
このようにすれば、メロディのデータが誤って送信されてきたときに、これを格納しないようにすることができ、操作性を高めることができる効果がある。
【００２２】
本受信機によれば、報知音としてのメロディのデータを利用者が好みに応じて容易に追加することができ、飽きることがないという効果がある。
【００２３】
尚、ここでは、メロディのデータを特定のコードが付加されたメッセージデータとして送信する例を示しているが、これとは別に、本来メッセージを着信するのとは別のアドレスでメロディのデータを着信することとしておいても構わない。
【００２４】
この場合には、本受信機には、メッセージを着信する第１のアドレスと、メロディのデータを着信する第２のアドレスの２つのアドレスが割り当てられることとなり、第２のアドレスでデータを着信すると、制御部２が当該データはメロディのデータであると判断して、ＥＥＰＲＯＭ４に格納するようにしておけばよい。つまり、利用者が第２のアドレスで着信した当該メロディのデータを報知音として選択し、設定できるようになり、着信すると、当該メロディが鳴動されるようになる。
【００２５】
【発明の効果】
本発明によれば、第１のアドレスでメッセージを着信し、第２のアドレスで利用者によって予め選択され、着信時の報知音として使用されるメロディのデータを着信する無線受信機に対してメロディのデータを提供する方法であって、提供者の元に登録されているメロディが電話回線を介して利用者により選択されると、当該選択されたメロディのデータと前記利用者の無線受信機の第２のアドレスデータが電話回線を介して送信され、前記利用者の無線受信機の第２のアドレスでメロディのデータが着信される場合にのみ、前記利用者の無線受信機に着信時の報知音としてメロディのデータが記憶されるメロディのデータの提供方法としているので、利用者がメロディのデータを容易に追加できる効果がある。

また、本発明によれば、第１のアドレスでメッセージを着信し、第２のアドレスで利用者によって予め選択され、着信時の報知音として使用されるメロディのデータを着信する無線受信機であって、メロディのデータが記憶されている記憶部と、利用者の指示が入力される操作部と、メッセージを表示する表示部と、データを着信する受信部と、受信部で着信したデータが、第１のアドレスで着信した場合、該第１のアドレスで着信したデータをメッセージとしてメッセージのデータが記憶される記憶部に格納し、第２のアドレスで着信した場合、該第２のアドレスで着信したデータを新たなメロディのデータとして記憶

部に追加して格納する制御部とを有する無線受信機としているので、利用者がメロディのデータを容易に追加できる効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図１】本受信機の構成ブロック図である。

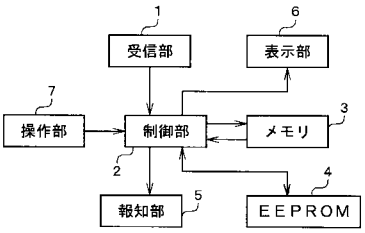
【図２】メロディのデータを含むメッセージデータの構造を表す説明図である。

【図３】ＥＥＰＲＯＭ４の内容の一例を表す説明図である。

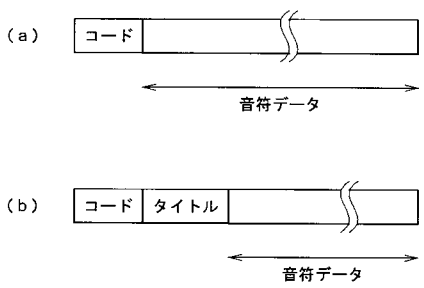
【符号の説明】

１…受信部、　２…制御部、　３…メモリ、　４…ＥＥＰＲＯＭ、　５…報知部、　６…表示部、　７…操作部

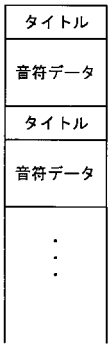
【図１】



【図２】



【図３】



フロントページの続き

(56)参考文献 特開平０４－３３９４２４（ＪＰ，Ａ）
特開平０８－２３７７１１（ＪＰ，Ａ）
特開平１０－１１２８７５（ＪＰ，Ａ）
特開平１０－０６６１１８（ＪＰ，Ａ）
特開平０９－２４７７２３（ＪＰ，Ａ）

(58)調査した分野(Int.Cl.，ＤＢ名)
H04B 7/24- 7/26、
H04M 1/00、 1/24- 1/253、
1/58- 1/62、 1/66- 3/00、
3/16- 3/20、 3/38- 3/58、
7/00- 7/16、11/00-11/10、99/00、
H04Q 7/00- 7/38